

会議録

会議の名称	令和4年度 第3回西東京市地域公共交通会議
開催日時	令和4年10月27日（木）午後2時00分から午後3時15分まで
開催場所	西東京市役所田無第二庁舎4階 会議室2・3
出席者	<p>【委員】古厩委員（会長：まちづくり部長）、関根委員、町田委員、米澤委員、小河委員、清家委員（代理 田中委員）、桑島委員、滝沢委員、渡辺委員、蓮見委員、岩澤委員、鈴木委員（代理 中川委員）、飯箸委員</p> <p>【事務局】長塚交通課長、本庄係長、石部主査、田中主事、河野主事</p>
議題	<p>西東京市地域公共交通計画の策定について</p> <p>①計画策定方針とアンケート調査の実施について</p> <p>②アンケート調査内容について</p>
報告	令和4年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）
会議資料の名称	<p>《説明資料》</p> <p>資料1 西東京市地域公共交通計画策定方針について</p> <p>資料2 アンケート調査の実施について</p> <p>資料3 アンケート調査内容（概要）について</p> <p>資料4 市民アンケート調査票案</p> <p>資料5 中学生アンケート調査票案</p> <p>資料6 令和4年度西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会</p> <p>○会長： 会議開催にあたり、西東京市地域公共交通会議設置要綱第6第2項に規定する定足数、委員の過半数を満たしていることを報告する。 欠席者：岡村委員、畠山委員、松村委員 議事に先立ち、会議の公開についてお諮りする。当会議は、西東京市地域公共交通会議設置要綱第7の規定により、会議録も含め、原則公開となっている。公開でよろしいか。</p> <p>～全員賛成～</p> <p>○会長： それでは、本日の会議については原則どおり公開とする。</p> <p>～傍聴人あり～</p> <p>2 議事</p> <p>議題 西東京市地域公共交通計画の策定について ①計画策定方針とアンケート調査の実施について</p> <p>○会長： 西東京市地域公共交通計画の策定について、事務局より説明を求める。</p> <p>○事務局： 説明の前に、今後の調査に会議のご意見を反映させるため、今年度市が計画策定支援業務を委託する株式会社ライテックの担当者を入室させたい</p>	

がよろしいか。

○会 長： 計画策定支援業務を委託する株式会社ライテックの担当者を入室させてよろしいか。

～全員賛成～

○会 長： それでは、株式会社ライテックの担当者の入室を認める。

～株式会社ライテック入室～

○事務局： 資料1、資料2により、地域公共交通計画策定方針・アンケート調査の実施方針について説明。

○会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。

○委 員： 資料1に国の支援制度の記載があるが、具体的にどのような支援内容なのか、また、今後そのような支援を活用していく意向があるのか。

○事務局： 支援制度としては様々なものがあるが、わかりやすい例で言うと、過疎地域などで運行している路線バス（基幹バス）につながるフィーダーバスの運行に補助が出るものがある。西東京市で「はなバス」がフィーダーバスに該当するが、現状は支援の条件に合致していないため、補助は活用していない。

○委 員： 4の（2）計画内容に、「基盤整備」と「利便性向上」の記載があるが、具体的にはどのような内容か。

○事務局： 現行の計画は、道路整備などの基盤整備がメインの内容になっている。今後の地域公共交通計画は、その基盤整備がなされたあとの公共交通の使い方について検討していくものと考えている。

○委 員： それでは、利便性向上に重きを置くということか。

○事務局： 公共交通の利便性の維持が第一と考えている。

○委 員： 中学生アンケートについて、今の中学生はコロナの影響で学校の行事がなくなるなど、公共交通を利用する機会がないのではないか。特殊な状況だと思うが、どう考えているか。

○会 長： のちほどの議題でアンケートの内容の説明があるので、その際にあらためて質問していただく形でよろしいか。

○委 員： 承知した。

○会 長： 今回の計画の内容について補足するが、西東京市が合併した当時、「はなバス」の運行が新市の重点施策になっていたことなどから、公共交通と道路整備を含めた、任意の交通計画として策定し現在に至っている。その後、国の方で様々な公共交通の計画作りを推進する動きが出てきたことや、市の方でも道路整備の計画を作り、それに基づいて進行管理するようになったため、これを機に、道路整備と公共交通を切り離した計画策定を行うというのが、今回の意図である。

○委 員： 補助金のお話を補足させていただく。事務局から説明があった地域間幹線系統の運行補助やフィーダー系統の運行補助は法改正前からあった制度で、地域公共交通計画（法改正前は地域公共交通網形成計画）を策定していなくても補助を受けられたのだが、法改正後は計画を策定していないと補助を受けられなくなるという経緯がある。また、運行補助だけでなく、計画を策定するための調査事業への補助や、「地域公共交通利便増進事業」を実施するための補助など、様々なメニューを用意している。地域公共交通計画の有無により受けられる補助が変わるので、良い判断だと考える。

○委 員： 計画策定の方針が手段に深く着目されているが、市民目線を入れないといけないのではないかと。せっかく良い公共交通ネットワークがあるので、市民にもっと使ってもらう仕組みをつくらないといけない。公共交通を残すためには利用者に使ってもらうことが必要で、そのためにどうするか、検討が必要と考える。

○会 長： 貴重なご意見だと思うので、今後の計画策定の過程で検討させていただきたい。

○委 員： 公共交通の目標を達成すると、他の分野にどのような好影響があるか、例えば福祉の分野で、外出機会が増えることで介護予防やフレイル予防などにつながるといった、いわゆるクロスセクター効果について言及すると良いと考えている。

○会 長： 他に何かあるか。よろしければ①計画策定方針とアンケート調査の実施については以上とさせていただきたい。

議題 西東京市地域公共交通計画の策定について ②アンケート調査内容について

○会 長： 議題の（１）の②「アンケート調査内容について」事務局より報告を求める。

○事務局： 資料３、資料４、資料５により、アンケートの調査内容について説明。

- 会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。
- 委 員： 市民アンケートの10頁の「自転車を利用する理由」の設問だが、自分自身に当てはめて考えると、ほとんどの項目が該当するので、1つに選べない。複数選択にして、最も当てはまるものに◎などにできないか。
- 事務局： 学識経験者から、あれもこれも○をつけて回答がブレないように、主な目的を1つ聞き取るよう調査技術の観点から指導をいただいているため、このままいかせていただきたい。
- 委 員： 自転車を利用する理由に「荷物があるから」が考えられるが、選択肢に含まれていない。また、西東京市の道は狭く、例えば保谷新道の歩道は自転車で通行できないし、車道側も怖くて乗れない。今回の調査ではそのあたりは聞かないのか。
- 事務局： ご指摘の状況はあると認識していて、問11の自転車の走りやすさの回答で評価したいと考えている。
- 委 員： 交通事業者が実施するようなアンケートだと感じた。「運賃が安ければ良い」「混雑しないほうが良い」「時間通り運行すれば良い」というような意見を収集して、市としてどうするのか、疑問に思った。市の地域公共交通計画として考えるのであれば、現状の不満を聞くだけでなく、ワイドなまちづくりを見据えて、夢のあることを聞いた方が良いと思った。
- 事務局： 問12の自由記述で書いていただくことや、中学生アンケートから、中学生の自由な発想で将来のまちづくりに対する意向を聞き取れると良いと考えている。市民意識調査では、西東京市の公共交通はそこまで悪くないという結果がでているため、今回のアンケートで、逆にどの程度市民が満足しているかを確認したい。
- 会 長： 計画を策定する上で、まずは利用実態を把握することが重要と考えていて、今回の調査はそういった観点で設計されている。計画を策定する段階で目標を定めることになるので、そこでよりよい公共交通体系についてまとめていくことになると考えている。
- 委 員： 6頁の鉄道に関する設問があるが、「乗り換え時間」に関する項目がない。鉄道とバスの異なる手段のシームレスな乗り換えを検討したほうが良い。問11の満足度と重要度は、車を運転していると自転車や人が怖いと思うし、一方で自転車に乗っている人は車が怖いと思っている。難しいかもしれないが、各手段の評価ではなく、移動に関する全般的な「怖さ」を評価できないかと思った。中学生アンケートの問4「車やバイクを持ちたいか？」と聞くと、おそらく持たないと回答されるので、「運転したいですか？」として、カーシェアリングやレンタカーの利用も含めて聞くのが良いと思う。問3の選択肢2は「健康増進」ではなく「疲れにくい」という表

現が中学生にとってはわかりやすいと思う。

- 事務局： 検討する。問3の選択肢2は、ご指摘のとおり中学生にとっては難しいかもしれないが市民アンケートに合わせたいと考えている。
- 委員： 鉄道からバス・タクシーへの乗り継ぎも聞けると良い。例えば休日の田無駅ではタクシーが来なくて多くの人が待っているなどの状況がある。中学生アンケートは、全般的に実感が湧かないのではないか。
- 事務局： 乗り継ぎについては、7頁のバスに対する「他の交通手段との乗り継ぎ」の満足度、重要度で評価したいと考えている。中学生アンケートについては、ご指摘のとおり中学生にとっては分かりづらいかもしれないが、市民アンケートと同様に大人と同じ目線で、このまま聞いてみたいと考えている。
- 委員： 市民アンケートで鉄道の接遇や環境に関する設問があるが、このような内容を聞き取って、この地域公共交通会議の中でどう取り扱っていくのか。
- 事務局： 具体的な施策の想定は現時点ではない。まずは意向を把握して、この会議の中で関係者と共有して、できることを検討していくことを考えている。
- 委員： 例えば「駅員・乗務員への対応」についても出た意見については、この会議の中で検討していくということが良いか。
- 事務局： ご指摘の項目を個別に取り上げて、この会議で対策を検討していくものではなく、把握できた市民の意向を会議で共有して、それを踏まえて何を取り上げていくかも含めて、この会議で協議していくことになると考えている。
- 委員： この会議での最終的なゴールを見据えて、設問の内容は調整できると良いと感じた。
- 事務局： 11月中旬にアンケート調査を実施する工程を考えているので、設問に大きな問題がなければ、このままとさせていただきたい。
- 会長： ご指摘を踏まえて、今後の進め方は検討いただきたい。なお、個別の項目をシビアに評価していくものではないと考えている。アンケートの回答者の目線で、答えたい項目として考えられるものを挙げている、ということかと思う。
- 委員： 承知した。

○委員： 中学生アンケートの問3だが、生徒に背景や意味を説明してあげないと答えられないのではないか。例えば、自家用車の利用が減れば環境負荷が減るとか、自転車や車やバイクの利用が減るから交通事故が減る、など。設問は変えなくても良いが、今のままだと表面的な意見しか出てこないと思うので、例えば先生に補足説明していただく資料を1枚加えたらどうか。

○事務局： ご意見を踏まえ、検討する。

○会長： アンケートに関して本日いただいた意見は、最終的に会長と副会長で事務局の修正内容を確認し、調査実施の判断を行うという進め方とさせていただきたいが、よろしければ挙手を願いたい。

～挙手全員～

○会長： 全員挙手のため、そのように進めさせていただく。

報告事項 その他について

○会長： その他「令和4年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）」について、事務局より資料の説明を求める。

○事務局： 資料6により、令和4年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）について説明。

○会長： それでは、以上をもって令和4年度 第3回西東京市地域公共交通会議を閉会する。

以上